

平成 24 年 9 月 4 日

平成 24 年度第 2 回
いわき市食育推進委員会議事録

平成 24 年度第 2 回いわき市食育推進委員会 議事録

1 開催日時： 平成 24 年 9 月 4 日（火） 14：00 ～ 15：30

2 開催場所： 総合保健福祉センター 3階 健康学習室

3 議事案件及び発言内容等：

(1) 報告事項

① 平成 24 年度食育に関するアンケート調査について

委員長	はじめに、「平成 24 年度食育に関するアンケート調査について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 1 に基づき説明)
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)
委員長	アンケート調査の実施については、各種統計を出す場合に、年齢層の偏りが出ている状況を踏まえ、大学生等、若い世代からも調査結果がとれるように、実施会場等の検討をしてきたものと認識している。今年度実施分の調査状況を見ると、アンケート回収について、若干、女性の回答に偏りが出ていることが見受けられるので、今後については、そのあたりを念頭におきながら実施することとしてはどうか。
事務局	調査実施の際に、どうしても女性に偏りがちになる傾向があるのも実態としてあるが、そのあたりについては解消ができればと考えている。

② 平成 24 年度食育モデル事業の経過について

委員長	続いて、「平成 24 年度食育モデル事業の経過について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 2 に基づき説明)

委員 長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)
委員 長	「いわきふるさとふれあい弁当コンテスト」については、9月3日現在応募が341件とのことだが、審査当日は現物による審査となるのか。
事務局	第1次審査は、書類による審査となり、第2次審査は、実際に調理したもので審査することとなる。

③ 関係団体等における特徴的な食育関連事業について

委員 長	続いて、「関係団体等における特徴的な食育関連事業について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料3に基づき説明)
委員 長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)
委員 長	それでは、本日出席いただいている委員の皆様の所属する団体における特徴的な取組みについて、追加等する内容があれば発言をお願いします。
委員 A	病気になった子供や、病後の体力がおもうように回復しない子供を一時的に預かる際に、病気回復の観点から見た食の確立方法や、親の育児疲れからくる食に対する意識の低下等を防ぐための各種事業を実施することで、食に対する意識向上や健康管理のサポートなどに繋げることを目的に、各種事業を実施している。

委員 B	<p>農村地帯に伝わる伝統食材の継承の観点から数年前まで、参加者と季節の料理を作ったり、その料理を試食するなど、会の事業として、行ってきたが、現在は、会の高齢化に伴い、事業実施が困難な状況下にある。</p> <p>現在は、学校の子供たちなどから体験学習等を通して、伝統食材に係る技術継承について要請があった場合には、講師として携わり、サポートしているところである。</p>
委員 C	<p>農業教育施設を開放することで、地域の方々に対して、農業に係る技術伝授や専門的な部分を学習してもらい、農業に対する興味・関心をもってもらうことを目的に各種事業を展開しているところである。</p>
委員 D	<p>子育て支援の一環として、保護者の日常生活における不安解消やこどもと保護者が一緒に楽しむことができるイベントの開催などを実施している。</p>

(2) 協議事項

① 市食育推進計画の見直しについて

委員長	<p>はじめに、「市食育推進計画の見直しについて」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料4に基づき説明)</p>
委員長	<p>事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。</p>
委員 E	<p>市の計画見直しについて、「食の安全・安心」におけるリスクコミュニケーションの観点から、放射能問題の正しい情報の提供に努めることについて、計画に追記することは非常に重要なことである。</p> <p>情報の発信は、放射能の情報について、人それぞれで捉え方が違う中で、その公表の仕方・手法が重要であり、事故前の放射能の状況と事故後の放射能の現状などを比較したものの情報の公表など、わかりやすい情報の提供が求められているものとする。</p>

② 今後の食育モデル事業の実施について

委員長	続いて、「今後の食育モデル事業について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料5に基づき説明)
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
委員 D	高校生にもなると、食生活が乱れがちになる傾向があるが、大学生・社会人と、近い将来、親元を離れ、自立した生活を送らなければならない中で、今から自立した時に適切な食生活を送ることができるようサポートをしておくことは、重要なものと考えられるので、高校生を対象とした、食に関するセミナーの開催などを検討してみてはどうか。

(3) 閉会